

2024年度自己評価結果公表シート

作成 カトリック聖マリア幼稚園

1. 本園の教育目標

キリスト教の愛の精神を基に きよく あかるく 元気な子の育成を目指す

2. 保育方針

キリスト教の精神に基づき、隣人に対する愛、祈る心、人間としての正しい生き方の基礎を培う。 子どもの発達に応じて、生活や遊びの中で、人と関わり、積極的に物事に取り組む意欲、豊かな感性を身につけるように導く。

3. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

①キリスト教の精神に基づいた教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解を図る。 また、園内外の研修に参加し、教職員の資質の向上を図る。 ②子どもの実態を的確につかみ、また自らの保育を客観的に見つめて指導の改善・教育内容の改善に取り組む。

4. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・教職員の指導力向上へのより一層の具体的な取り組み	・各学年で行事ごとに保育の発表をして教職員全員で討議をした。 ・園外から講師を招き、個々の保育について客観的に見直しをした。 ・外部評議委員の方を招き、研究保育を行った。
・キリスト教保育の深化・充実	・教会の神父様より、キリスト教保育について直接指導を受けた。 ・大阪高松大司教区カトリック幼児協議会による、教員研修会に参加し、キリスト教の理解、それを元とした保育の深化・充実に努めた。 ・朝礼時に『日々の祈り』を唱え、保育にいかした。
・食育の推進	・園内で野菜を栽培し、収穫した野菜を食すことで食への興味・関心を高めることができた。 ・発達段階に応じて、栄養について考える機会を設けた。
・園内環境・衛生・安全管理の見直し	・園内の換気や消毒を徹底し、衛生管理に努めた。 ・防犯意識を高め、保護者の意識も高めるよう働きかけ

	た。 ・門の施錠を徹底した。 ・不審者侵入時の訓練、研修を行った。
・子育て支援の見直し	・保護者の就労有無に関わらずⅠ号認定の園児に対しても預かり保育を実施した。 ・0歳児、Ⅰ歳児の無料サークルや園庭開放を行った。 ・月にⅠ度カウンセラーによる相談の機会を持ち、子育ての悩みを軽減する一助とした。

5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・キリスト教の愛の精神に基づいた、「隣人に対する愛」「祈る心」「人間としての正しい生き方の基礎」を子ども達に伝え、やさしい心、思いやりの心を育てることに努めた。 ・園の方針である子どもを心から愛し大切にす、子どもを抱きしめることに取り組み、子どもが安心して登園し活動することができるように努めた。 ・教育課程の編成、実施に関しての話し合いだけでなく、子どもや保護者との関わりや、園児一人一人の情報を共有し、共通理解することができた。 ・教職員間での保育発表や研究保育を行い、その中で討議したことで課題を理解し、保育向上に活かすことができた。

6. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
・教職員の指導力向上へのより一層の具体的な取り組み	・行事ごとの保育発表を継続して充実させる。 ・研究保育を続けて、指導を仰ぐ。 ・教職員全体で日々の子どもの姿について話し合う機会を毎日持つ。 ・園外研修に積極的に参加する。
・キリスト保育の深化・充実	・カトリック研修に積極的に参加する。 ・定期的に神父様に指導を受ける。 ・朝礼時に祈りを唱える。
・食育の推進	・健康な身体作りを目標に食物を栽培・収穫・食する経験をする。楽しく食事をする中で、苦手な食物を克服できるような環境、指導を考える。 ・発達段階に応じて、栄養について考えさせる。
・園内環境・衛生・安全管理の見直し	・園内衛生、換気を徹底する。 ・災害・不審者等への日常的な危険管理を、避難訓練等を通して周知していく。

・子育て支援の見直し	・子育てと社会を繋ぐ役目を負っている事を自覚し今後も継続して取り組む。
------------	-------------------------------------

7. 2024年度 学校関係者評価

子ども一人ひとりを大切に、また個性を大切にして指導されていた。子どもの心が落ち着いて、集中して活動することができている。欠席している子どもに心を寄せる指導にキリスト教保育の深化を感じた。成長する園児の様子を通じて保護者にも理解が広がり、信頼を得ることができている。積極的に外部研修に参加したり、園内研修に取り組んだりする様子から、教職員の保育に対する意欲の向上を感じる。
--

8. 財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められている。
